

平成29年度

公立小野町地方総合病院「地域医療体験研修」 報告書

- 日時 • 1コース 平成29年8月7日（月）～9日（水）
- 2コース 平成29年8月21日（月）～23日（水）
- 参加者 • 1コース 福島県立医科大学医学部生 3年生 3名
- 2コース 福島県立医科大学医学部生 3年生 11名
- 開催場所 特別養護老人ホーム「こまち荘」ほか



公立小野町地方総合病院

特別養護老人ホームこまち荘（施設見学）



【遠藤施設長】

○ 特別養護老人ホーム「こまち荘」にて、地域における施設の役割と病院との連携について説明を受けました。

- ①コース 8月7日
- ②コース 8月21日



（学生アンケートより）

- 要介護度が時間で区分されているのは意外であった。
- 施設と病院との関係は重要であると知った。
- 介護の現場と医師が接する場では施設のスタッフの話をよく聞き対応する必要があると感じた。



保健施設・診療所（施設見学・医師講話）



【川内村診療所 木村先生】

- 川内村の保健・福祉・医療複合施設である「ゆふね」の施設見学や診療所医師から地域医療に対する考え方体験談を聞きました。①コース
- 都路診療所にて、医師の講話、施設見学を行いました。②コース

①コース 8月8日
②コース 8月22日



【 都路診療所 家田先生】

（学生アンケートより）

- 診療所の施設が想像以上に充実していた。
- 地域医療を行う上では総合診療が大事だと思った。
- 地域になくってはならない医療施設と感じた。
- 診療所医師の地域医療に対する情熱に感銘を受けた。



【 都路診療所 見学】

平田村健康教室 いきいきサロン (問診・血圧測定・住民との交流)



【① 運動教室】



【問診・血圧測定】



○ 平田村健康教室「いきいきサロン」に参加し、血圧測定や健康教室を通して住民との交流を図りました。

- ①コース 8月9日
- ②コース 8月23日



【② 歯科衛生士さんの講義】

(学生アンケートより)

- 問診する際、必要な情報を会話の中で聞出すことができた。
- もう少し住民と話す時間が欲しかった。
- 医療面接は診断、治療のため大変重要であるが、実際の患者さんに行ったのは初めての経験であった。感謝の言葉をもらい、今後のモチベーションとなった。
- 住民は地域の医師不足の状況を実感していて、より充実した医療を受けられることを望んでいると感じた。